

## 教員の養成の目標及び計画

教育学部は教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、子どもの「生きる力」を学校教育の場で育む教員を養成することを目指す。基礎的な教養を偏りなく身に付けるようにするとともにそれぞれの専攻における教育の専門職に求められる高度な知識及び技能を授け、さらに、豊かな人間性と開かれた社会性を涵養し、教育に対する強い情熱を持って自ら学び続けようとする態度を養う。このように教員に求められる資質・能力を備え、教育保育分野に貢献する人材の育成を教育の目的とする。

教育学部ではディプロマ・ポリシーを策定し、次に掲げる能力、態度を備えた教員の養成を目標とする。

- ①偏りのない基礎的な教養と、教育の専門職としての高度な知識及び技能を有し、それを活用できる。
- ②豊かな人間性と開かれた社会性を持ち、対人関係を適切に構築できる。
- ③教育に情熱を注ぎ、常に学び続けようとする姿勢を有している。
- ④幼稚園教員にあつては小学校や保育所等との接続を想定し、小学校教員にあつては幼稚園や中学校等との接続を想定して、地域社会のネットワークの中で子育て支援などの時代や社会の要請に応じる力を有している。
- ⑤中学校及び高等学校教員にあつてはそれぞれ専攻する教育の実践において、リーダー的存在として活躍することができる。

また、教育の目的を達成するための計画・方途として、次のようなカリキュラム・ポリシーを策定している。

- ①教育の専門職にふさわしい基礎的な教養を身に付ける科目を置き、また、外国語について学ぶ科目を置く。
- ②教育の専門職として必要な知識及び技能を養成するための基礎となる教職の意義、教育の原理・制度・歴史、子どもの成長や発達についての学問的理解、教科の基礎を学ぶ科目を置く。
- ③教職や教科の基礎となる科目を深化・発展させるべく、教科内容についての幅広く深い理解、子どもの発達段階に応じた適切な助言・指導を行える実践力、指導法についての専門的知識及び技能、そして情熱を持って授業を実践し先導する力を養成する科目を置く。
- ④生徒指導及び進路指導や学級経営を適切に行うために必要な豊かな人間性や社会性を身に付ける科目を置く。
- ⑤初等教育から中等教育への接続の意義・重要性に鑑み、主たる免許資格以外の教育内容を学修することにより複数免許の取得ができるように教育課程を編成する。
- ⑥特別支援教育の意義重要性に鑑み、その基礎となる科目についてはすべての専攻において必修科目として置く。